

標準関連出願に対する  
特許庁の取組み

平成15年4月22日  
特許庁

## DVD-Video/ROM規格の特許プールの例(6C)

### 6Cグループ

日立製作所, IBM(2002年6月より加入), 松下電器産業,  
三菱電機, タイムワナー, 東芝, 日本ビクター

#### 6C特許プール(一括サブライセンス方式) 特許リストの概要

○プレーヤー、ドライブ、デコーダー、ディスク等の技術につき、計239の「特許ファミリー」(内容的にひとまとまりと把握できる単位)の各国特許(延べ750件)をプール

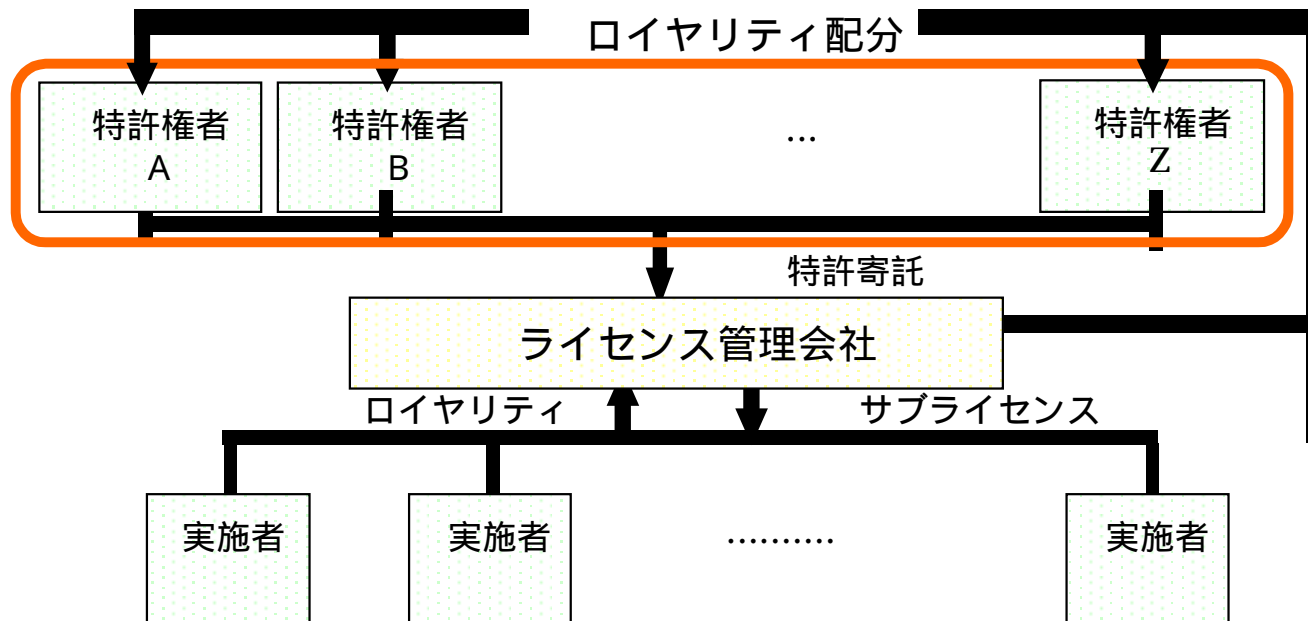
○全239「特許ファミリー」のうち202を日本企業が所有

○国毎の特許権(権利単位)

- ・日本国特許131件(うち日本企業の特許128件)
- ・米国特許 84件(うち日本企業の特許 62件)
- 等

# (参考1) パテントプール(一括サブライセンス方式)のしくみ

## 一括サブライセンス方式

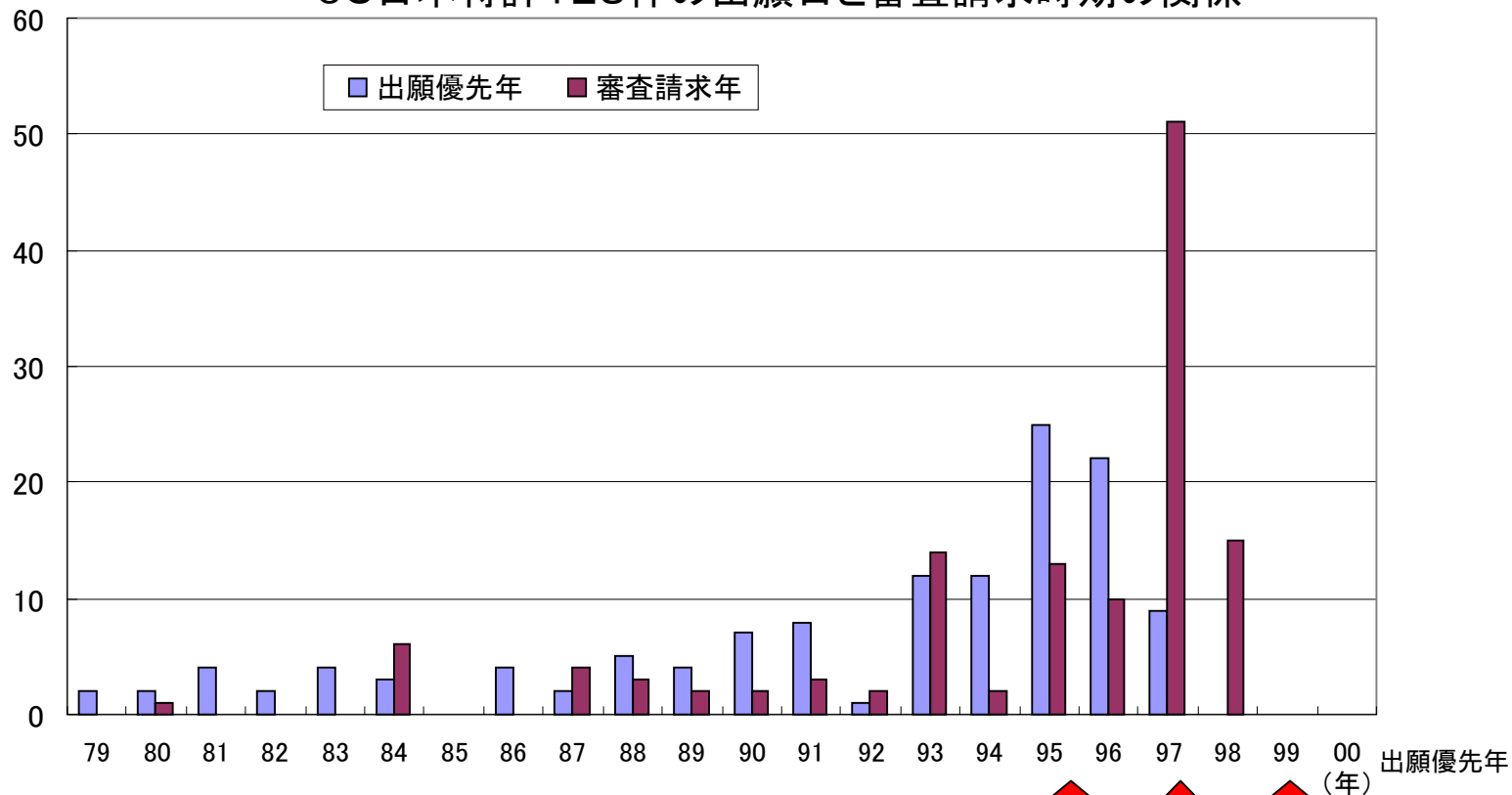


特許権者A~Zはライセンス管理会社に各自の必須特許を寄託(サブライセンス権付きライセンス)を付与し、ライセンス管理会社は実施を希望する者(実施者 $\alpha \sim \chi$ )にサブライセンスを許諾する一方、実施者から定められたロイヤリティを徴収してこれを各特許権者に配分

# 技術標準関連出願の審査請求は、出願直後ではなく、規格策定の動きに合わせて行われることが多い

(件数)

6C日本特許128件の出願日と審査請求時期の関係



出願優先年：優先権主張を伴う出願においては優先権主張の年、その他の出願においては出願年をいう。

DVD-Video/ROMの規格統一(95.12.8)

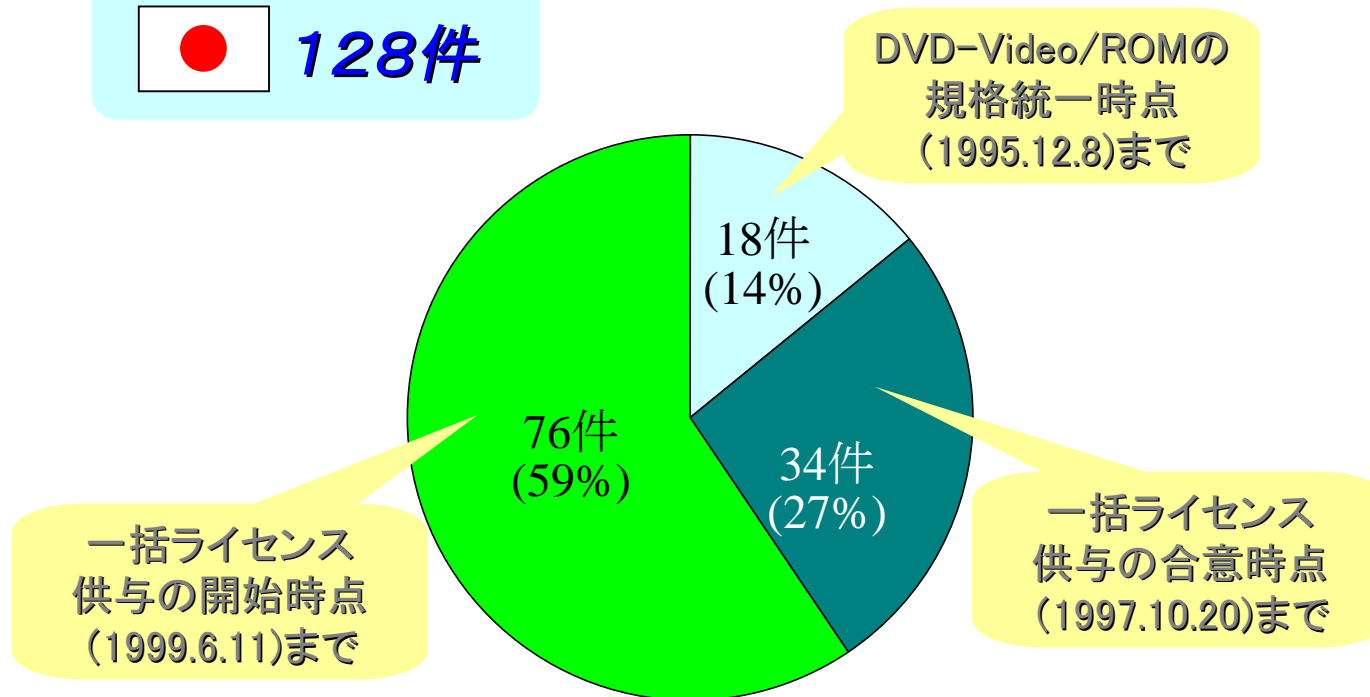
一括ライセンス供与の合意(97.10.20)

一括ライセンス供与の開始(99.6.11)

特許権の取得時期別で見ても、多くは一括ライセンス  
供与の合意後、供与開始時点までに取得されたもの

取得時期別 6Cグループ保有日本特許数

6Cグループ  
128件

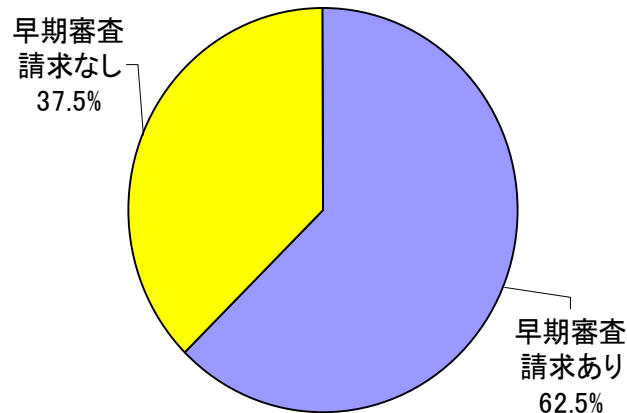


# 出願人は審査請求にあたり、早期審査制度を積極的に活用

## 早期審査の対象案件

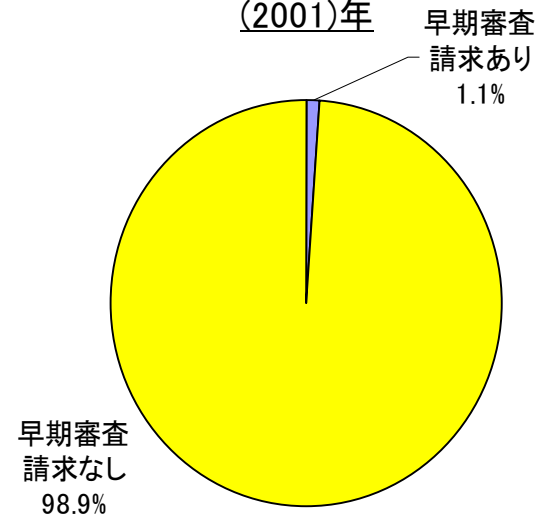
- ①実施関連出願  
(出願人、審判請求人又はそれらの実施許諾を受けたものが、その発明を実施しているもの)
- ②外国関連出願  
(その発明について日本国特許庁以外の特許庁へも出願しているもの)
- ③出願人が、大学、公的研究機関、TLO等
- ④出願人が中小企業又は個人

6Cグループ保有日本特許の  
早期審査請求の割合



審査請求件数 128件のうち、  
早期審査申出件数は 80件

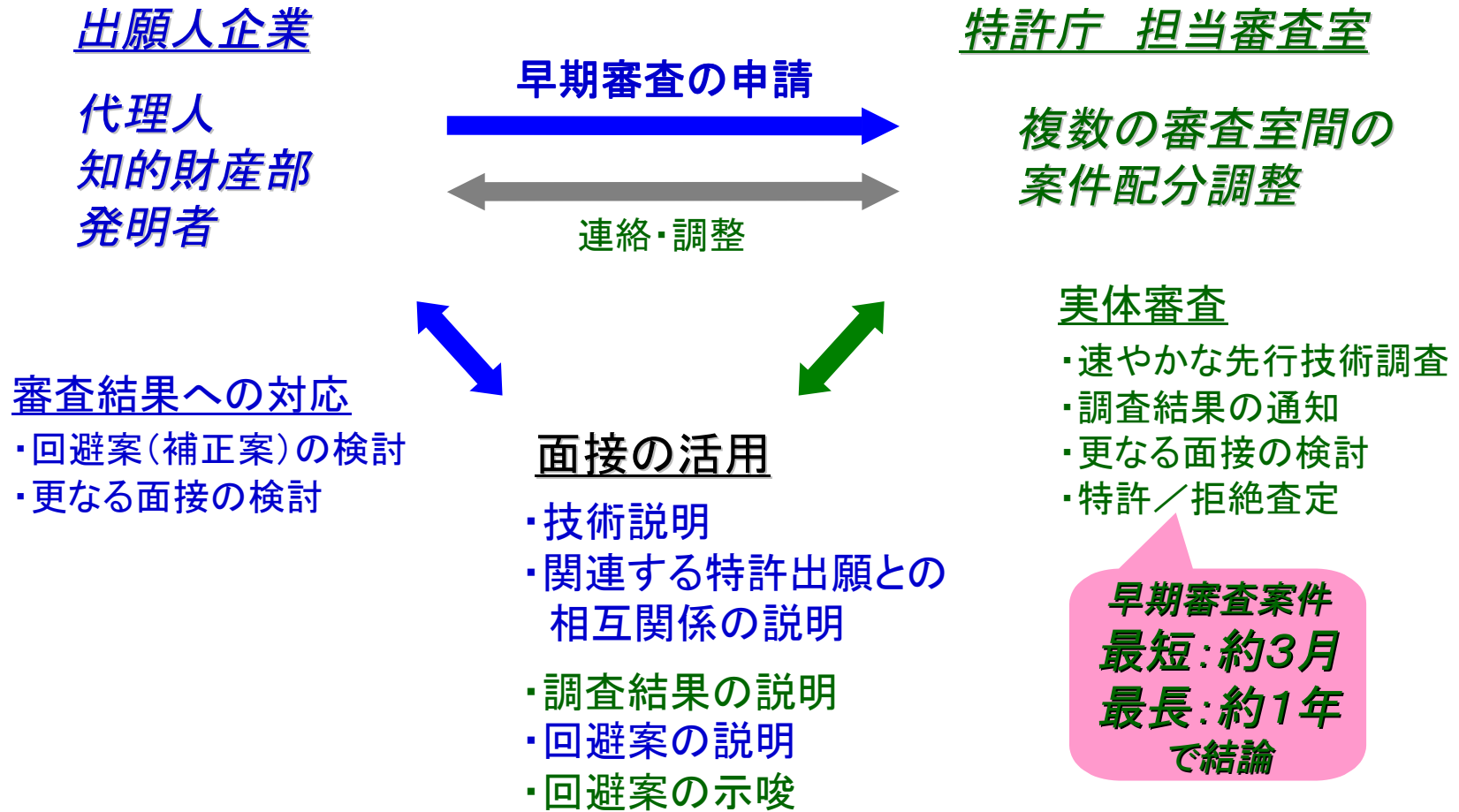
全審査請求に占める早期請求の割合  
(2001)年



審査請求件数 253, 826件のうち、  
早期審査申出件数は 2, 895件

特許庁は技術標準関連出願の審査において、  
出願人と緊密な連絡を取りながら迅速に対応

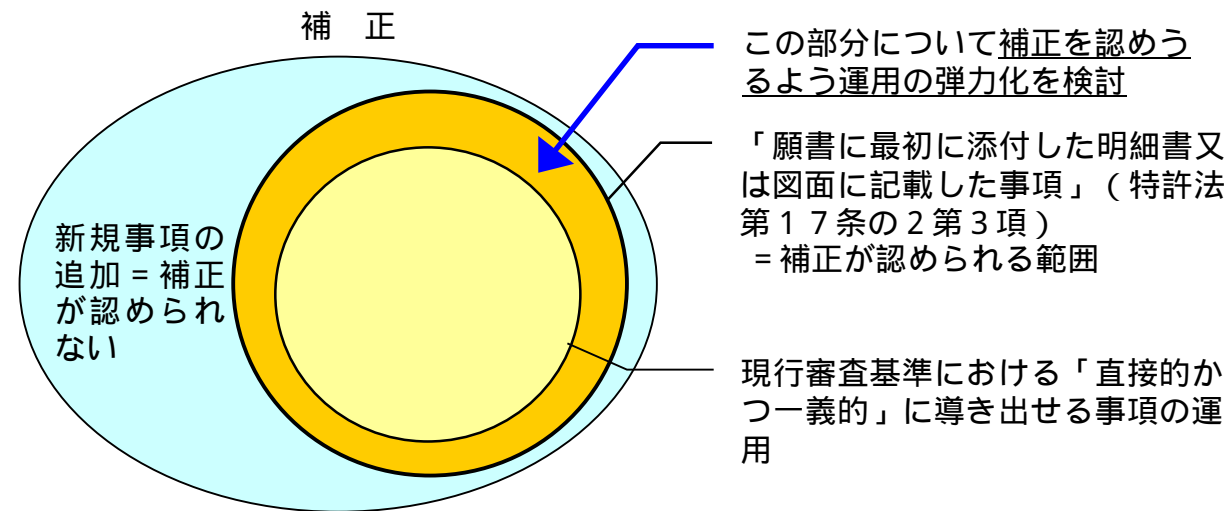
DVD関連特許の審査体制  
(早期審査の活用等による迅速な権利付与)



## (参考2)補正制限に係る審査基準の見直し

産業構造審議会知的財産政策部会特許制度小委員会  
「最適な特許審査に向けた特許制度の在り方について」  
(中間取りまとめ)

...基幹的な発明等についての適切な権利確保と可能とするとの観点に立ち、...運用の弾力化を検討する必要がある



(※新審査基準については、今後、案がパブリックコメントに付された後、夏頃に公表予定)